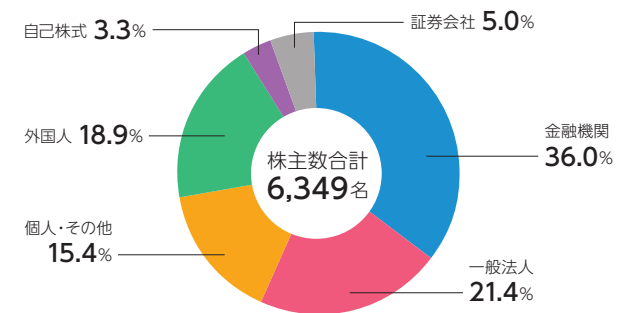


会社概要／株式の状況 (2024年9月30日現在)

会社概要	
社名	保土谷化学工業株式会社
英文社名	Hodogaya Chemical Co., Ltd.
本社所在地	〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル
設立	1916(大正5)年12月11日
資本金	111億96百万円
従業員	934名(連結)、487名(個別)

株式の状況	
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	8,413,726株
株主数	6,349名

所有者別株式分布状況



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(https://www.hodogaya.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更および マイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類について のお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ 願います。	電子提供制度専用フリーダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求) についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託 銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の 口座振替手続を行っていただく必要があります。

株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い

特別口座とは：2009年1月5日に実施された株券電子化までに、証券会社を通じて株券を証券保管振替機構(ほふり)に預けていない場合に、株主様の権利を保全するために当社がみずほ信託銀行に開設した口座のことです。

役員	
代表取締役社長 兼 社長執行役員	松本 祐人
取締役 兼 専務執行役員	笠原 郁
取締役 兼 常務執行役員	佐藤 伸一
取締役(監査等委員)	松野 真一
社外取締役(監査等委員)	加藤 周二
社外取締役(監査等委員)	坂井 真樹
社外取締役(監査等委員)	藤野 しのぶ

大株主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	933	11.5
東ソー(株)	700	8.6
(株)みずほ銀行	298	3.7
農林中央金庫	227	2.8
(株)日本カストディ銀行(信託口)	215	2.6
(株)日本カストディ銀行(信託E口)	191	2.4
明治安田生命保険(相)	164	2.0
(株)東邦銀行	148	1.8
JPモルガン証券(株)	138	1.7
(株)山口銀行	130	1.6

化学で夢のお手伝い

BUSINESS REPORT

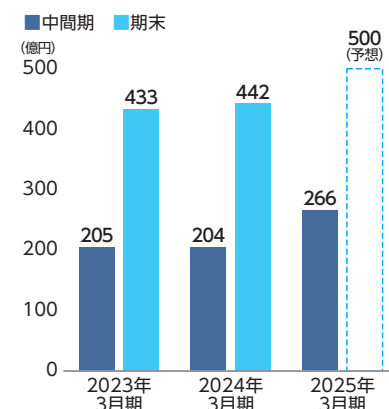
Your Dream Is Our Business

第167期 中間期 株主通信 2024年4月1日～2024年9月30日

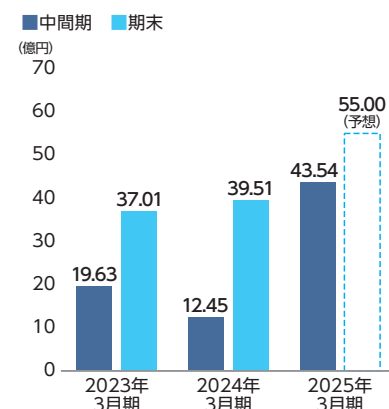
証券コード 4112

業績ハイライト

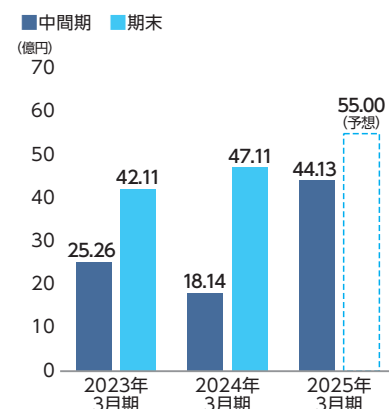
売上高



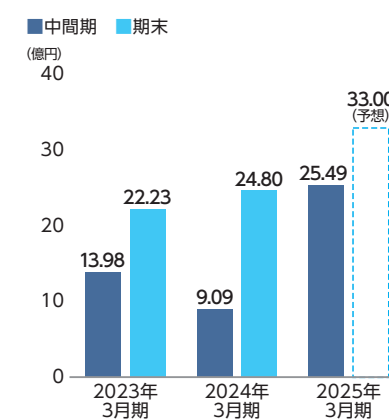
営業利益



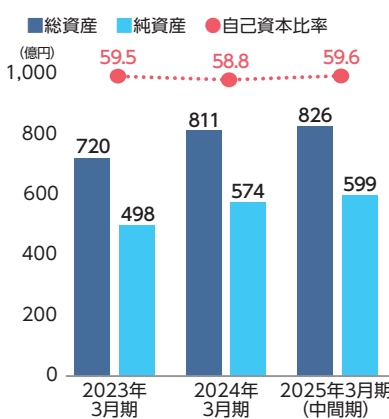
経常利益



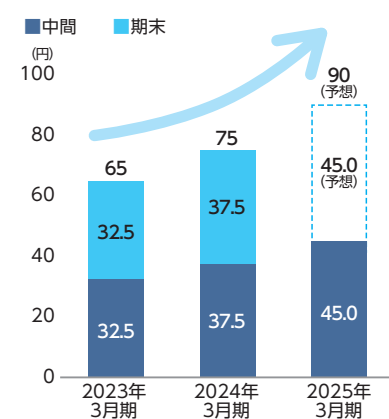
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



総資産・純資産



1株当たり配当金





株主の皆様へ

2030年度の「ありたい姿」の実現に向けて「SPEED 25/30」を加速させ中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

保土谷化学工業株式会社
代表取締役社長

松本祐人

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2030年度を最終年度とする中期経営計画「SPEED 25/30」を推進し、企業価値の向上を目指し取り組んでおります。

2024年度上期の当社グループの概況につきましては、特に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が拡大したことにより、売上高は26,607百万円(前年同期比30.1%増)、営業利益は4,354百万円(前年同期比249.7%増)、経常利益は4,413百万円(前年同期比143.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は2,549百万円(前年同期比180.3%増)の増収増益となりました。

通期の見通しにつきましては、上期業績が当初の想定を大きく上回ったことを踏まえ、2024年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を上方修正いたしました。売上高500億円、営業利益55億円、経常利益55億円、親会社に帰属する当期純利益33億円を予想しております。

配当については、業績動向・将来の事業展開・不測のリスク等を総合的に勘案し、特に株主資本配当率(DOE)を意識し、安定的、継続的に、株主の皆様への適正な還元を決定していくとの考えを基本としつつ、足元の業績および今後の経営環境の見通し等を踏まえ、中間配当金について当初の予想から1株当たり2.5円増配の45円(前年同期比7.5円増)とします。また、期末配当金の予想につきましても1株当たり2.5円増配の45円(前年同期比7.5円増)に修正いたします。これにより中間配当を含めた1株当たり年間配当金は90円(前年同期比15円増)となる見込みです。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2024年12月

セグメント情報

アグロサイエンス
8.2%

基礎化学品
14.4%

機能性樹脂
16.0%

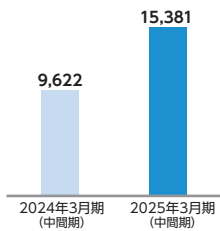
セグメント別
売上高比率

機能性色素
57.8%

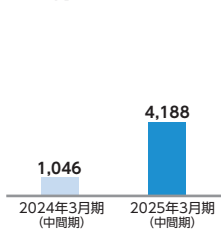
物流関連
3.4%

機能性色素

・売上高(百万円)



・営業利益(百万円)



上期の概況

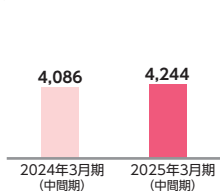
有機EL材料事業は、スマートフォン向けに加えタブレット端末向けでの需要が伸長し、大幅な増収となりました。天然色素は、食品業界での需要減少を受けて減収となりましたが、一方で、アルミ着色用染料の需要がスマートフォンやその他汎用品向けを中心に大幅に増加し、色素材料事業



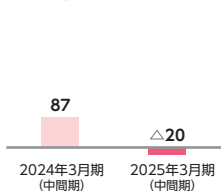
全体としては大幅な増収となりました。イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要が海外を中心に回復し、前年同期比で大幅な増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は15,381百万円、営業利益は4,188百万円となりました。

機能性樹脂

・売上高(百万円)



・営業利益(百万円)



上期の概況

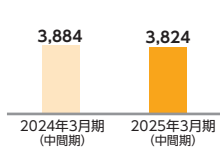
樹脂材料事業においては、一部販売増となった製品があるものの、ウレタン材料の市況低迷の影響が続いており、大幅な減収となりました。一方、特殊化学品事業においては、剥離材向け及び医薬向けの需要が海外を中心に回復し、前年



同期並みとなりました。建築材料事業は、大型商業施設の駐車場等におけるウレタン防水工事の受注により、大幅な増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は4,244百万円、営業損失は20百万円となりました。

基礎化学品

・売上高(百万円)



・営業利益(百万円)



上期の概況

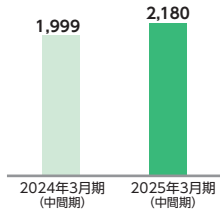
過酸化水素は、紙パルプ向けでの販売増がみられたものの、半導体向けでの需要回復が遅れており、前年同期並みの売上高となりました。一方、過炭酸ナトリウムにおいては、



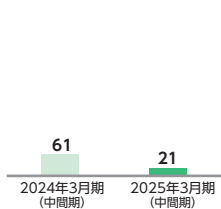
漂白剤向けで主要顧客での生産調整の影響等により、大幅な減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は3,824百万円、営業損失は3百万円となりました。

アグロサイエンス

・売上高(百万円)



・営業利益(百万円)



上期の概況

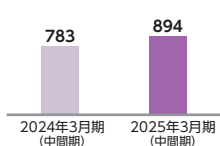
除草剤は、農耕地向けおよびゴルフ場向けの販売時期が前年度に前倒しとなったこと等により大幅に減少しましたが、鉄道用や家庭園芸向けの需要好調により増収となりました。



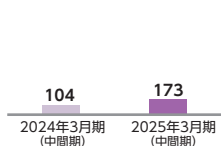
以上の結果、当セグメントの売上高は2,180百万円、営業利益は21百万円となりました。

物流関連

・売上高(百万円)



・営業利益(百万円)



上期の概況

輸出等の荷動きが堅調に推移したことと、国内における危険物保管事業での取り扱い増により、増収となりました。以上の



結果、当セグメントの売上高は894百万円、営業利益は173百万円となりました。

TOPICS

酒蔵 仁井田本家の草取り

郡山工場では、2024年6月、昨年に続き二度目となる仁井田本家の草取りボランティアに参加しました。今年は工場から20名が参加し、地域の方々と共に田んぼの草取りをさせていただきました。仁井田本家の方々に草取りのコツを教えていただき、地域の方々と交流しながら楽しく作業することができました。今後もCSR活動に積極的に参加し、地域や社会に貢献していきたいと思います。



こども国会に協賛



保土谷化学グループのサステナビリティ活動の一環として、2024年7月に開催された「こども国会2024夏」に協賛しました。このイベントは、国会議事堂を見学し、子供たちが「こどもまんなか社会」というテーマでグループワークを行い、最後に超党派議員の皆様に分自たちの考えた理想を伝えるという企画です。当社から参加したご家族やメンター役の従業員にとっても、子供たちのまっすぐな眼差しや出された意見に、驚きや気付きを得られる良い機会となりました。また、当社の協賛により、参加した子供たちがわくわくする社会や公平に挑戦できる機会の創出を応援することができました。当社のキャッチフレーズである「化学で夢のお手伝い」を通じて、引き続き社会に貢献していきます。

出前授業の開催

南陽工場では、2024年9月に近隣の小学校2校を訪問し出前授業を実施しました。コロナ禍以降、数年振りの開催ということもあり、子供たちに化学の面白さを伝えられるよう入念に準備をし、普段の業務でも利用している化学の実験を2つ体験してもらいました。

1つ目は、濾紙に書いたインクを水に浸して色を分離し、富士山を作る実験です。色が徐々に数種類に分かれていく様子に、子供たちは驚きながら熱心に見入っていました。

2つ目は、着色した3種類の液体の比重を利用して、国旗を作る実験を行いました。完成した国旗を楽しそうにグチャグチャに掻き混ぜる子供たちの姿がとても印象的でした。

子供たちの笑顔や反応を通じて、難しいと思われがちな化学の分野も楽しみながら学ぶことができると改めて感じました。子供たちにとって化学に興味を持つきっかけになってもらえるよう、今後も継続していきます。



サステナビリティ外部評価

当社グループは、企業価値創造や中長期的な企業成長のため、ESG（環境・社会・ガバナンス）活動に積極的に取り組んでいます。近年の情報開示要請の高まりを踏まえ、環境、気候変動への取り組みや人材に対する考え方、コーポレート・ガバナンスといった情報開示を継続しています。当社グループの取り組みに対する外部評価について、ご紹介いたします。

「日経統合報告書アワード」受賞（2024年2月）

日本経済新聞社が主催する「第3回日経統合報告書アワード」にて、保土谷化学グループレポート 統合報告書2023が「優秀賞」を受賞しました。当社の統合報告書は、1冊で当社のすべてが分かる冊子を目指し、2017年に創刊号を発行しました。その後、毎年地道に改善を重ね、受賞した2023年版は通巻第7号となりました。本アワードの前身は、1998年に投資家向けの年次報告書を対象として開始され、20年以上の歴史があります。2023年度は475社がエントリーし、入賞企業は55社となりました。今後も引き続き、当社への理解をより深めていただけるような情報開示に努めてまいります。

統合報告書
2024はこちら▶



FTSE Russell評価（2024年6月）：3.6

本インデックスは、ロンドン証券取引所グループが100%出資するグローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russell社が作成し、環境・社会・ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、日本の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が運用を行う際のESG指数にも選定されています。当社は2つの指数の構成銘柄に選定されています。

FTSE Blossom Japan Index
構成銘柄

ESGスコア3.3以上

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
構成銘柄

各セクターの上位50%かつESGスコア2.0以上

EcoVadis「シルバーメダル」取得（2024年8月）

当社は、EcoVadis社（本社：フランス）のサステナビリティ評価において、3年連続「シルバーメダル」を取得いたしました。EcoVadis社は、175か国・200業種・10万社以上の企業に、サステナビリティ評価サービスを提供しています。当社は、このサステナビリティ評価の指標（環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達）において、上位15%以内の企業に該当する「シルバーメダル」を取得いたしました。当社は引き続き、技術革新を通じて、サステナビリティへの取り組みを着実に実行し、オリジナリティにあふれるポートフォリオと環境に優しいモノづくりで、持続可能な成長を目指してまいります。

